

# 平成31年3月 全国百貨店売上高概況

平成31年4月23日

## I. 概況

1. 売上高総額	5, 148億円余
2. 前年同月比	0.1% (店舗数調整後/2か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	78社 216店 (平成31年2月対比-1社1店)
4. 総店舗面積	5, 417, 046㎡ (前年同月比:-3.4%)
5. 総従業員数	66, 334人 (前年同月比:-4.4%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	8-10月 -0.4%、9-11月 -0.6%、10-12月 0.0%、 11-1月 -1.3%、12-2月 -1.1%、1-3月 -0.9%

[参考] 平成30年3月の売上高増減率は0.1% (店舗数調整後)

### 【特徴】

3月の売上高は0.1%増と2か月連続のプラスとなった。ラグジュアリーブランドを中心に、高額品とインバウンドが好調を維持し、雑貨と身のまわり品が前年をクリア。催事などが好評だった食料品もプラスに転じ、一部店舗においては改装効果も見られた。

顧客別では、国内市場(シェア93.5%)は0.8%減と前年に届かなかったものの、インバウンド(シェア6.5%)は14.9%増と大幅な伸びを見せ、過去最高額(332億円)を記録した。

地区別では、名古屋(3.0%増)や大阪(2.6%増)など、6都市(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡)でプラスし、10都市が0.8%増(2か月連続)。地方(10都市以外の地区)は、2地区(北海道、近畿)でプラスしたものの、1.4%減(23か月連続)とマイナスが続いている。

商品別では、富裕層消費とインバウンドの活況を受け、身のまわり品(1.2%増)と雑貨(3.6%増)が2か月連続プラスした。化粧品(5.7%増)と高額商材(美・宝・貴/6.7%増)は引き続き増勢だった。また、物産展やホワイトデー関連イベントなどの催事が堅調に推移したことから、菓子(1.1%増)とその他食料品(0.7%増)も2か月連続増。その結果、食料品(0.1%増)は5か月ぶりにプラス転換した。一方、衣料品(1.4%減)は、気温の上昇に伴いジャケットやワンピースなど春物商材が動いたものの、前年を確保するには至らなかった。

### 【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「3月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇気温が全国的に高く、東・西日本ではかなり高かった。日照時間は北日本日本海側と東日本太平洋側を除き、ほぼ全国的に多く、降水量は北日本と東日本太平洋側で少なかった。

(2) 営業日数増減 30.9日(前年同月比 ±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 11日( " +1日/日曜1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数121店舗)

①増加した: 40店、②変化なし: 41店、③減少した: 40店

(5) 3月歳時記(ホワイトデー、卒業・入学、新生活)の売上(同上/有効回答数79店舗)

①増加した: 6店、②変化なし: 53店、③減少した: 20店

# 全国百貨店 売上高速報 2019年3月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>全国</b>	<b>514,878,775</b>	<b>100.0</b>	<b>0.1 (-1.0)</b>
<b>10都市</b>	<b>364,642,526</b>	<b>70.8</b>	<b>0.8 ( 0.4)</b>
札幌	14,052,208	2.7	0.7
仙台	6,953,696	1.4	2.0
東京	142,337,587	27.6	0.6
横浜	31,031,346	6.0	-0.8
名古屋	33,699,464	6.5	3.0 (-1.2)
京都	21,380,768	4.2	-0.3
大阪	74,485,170	14.5	2.6
神戸	12,234,739	2.4	-5.4
広島	10,255,192	2.0	-2.2
福岡	18,212,356	3.5	0.8
<b>10都市以外の地区</b>	<b>150,236,249</b>	<b>29.2</b>	<b>-1.4 (-4.3)</b>
北海道	1,282,485	0.2	0.7 (-20.7)
東北	7,881,581	1.5	-2.7
関東	67,587,331	13.1	-1.6 (-5.5)
中部	11,442,024	2.2	-1.7 (-3.1)
近畿	19,656,331	3.8	0.0
中国	11,047,823	2.1	-3.7
四国	8,362,502	1.6	-0.4
九州	22,976,172	4.5	-1.1 (-5.8)

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>総 額</b>	<b>514,878,775</b>	<b>100.0</b>	<b>0.1 (-1.0)</b>
紳士服・洋品	32,642,985	6.3	0.0 (-1.4)
婦人服・洋品	100,841,577	19.6	-1.0 (-2.3)
子供服・洋品	20,662,862	4.0	-3.1 (-3.7)
その他衣料品	9,827,492	1.9	-5.8 (-8.1)
<b>衣 料 品</b>	<b>163,974,917</b>	<b>31.8</b>	<b>-1.4 (-2.7)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>67,842,062</b>	<b>13.2</b>	<b>1.2 (-0.1)</b>
化粧品	54,655,685	10.6	5.7 ( 4.9)
美術・宝飾・貴金属	30,921,260	6.0	6.7 ( 5.4)
その他雑貨	18,234,001	3.5	-6.6 (-7.2)
<b>雑 貨</b>	<b>103,810,946</b>	<b>20.2</b>	<b>3.6 ( 2.7)</b>
家 具	5,736,281	1.1	3.1 ( 1.9)
家 電	1,094,659	0.2	5.8 ( 5.7)
その他家庭用品	13,800,426	2.7	-10.9 (-12.9)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>20,631,366</b>	<b>4.0</b>	<b>-6.6 (-8.4)</b>
生 鮮 食 品	21,645,726	4.2	-2.3 (-3.6)
菓 子	45,462,331	8.8	1.1 ( 0.5)
惣 菜	27,498,602	5.3	-0.6 (-1.3)
その他食料品	34,260,750	6.7	0.7 (-0.7)
<b>食 料 品</b>	<b>128,867,409</b>	<b>25.0</b>	<b>0.1 (-0.9)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>12,904,354</b>	<b>2.5</b>	<b>-1.9 (-2.7)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>5,401,166</b>	<b>1.0</b>	<b>-0.3 (-1.7)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>11,446,555</b>	<b>2.2</b>	<b>1.4 ( 0.3)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>10,402,757</b>	<b>2.0</b>	<b>-9.6 (-10.0)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	0.8% (店舗数調整後/2か月連続プラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	-1.4% (店舗数調整後/23か月連続マイナス)

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>0.8</b>	<b>0.5</b>	<b>2か月連続プラス</b>
札幌	0.7	0.0	2か月連続プラス
仙台	2.0	0.0	2か月連続プラス
東京	0.6	0.2	4か月ぶりプラス
横浜	-0.8	-0.0	3か月連続マイナス
名古屋	3.0	0.2	2か月連続プラス
京都	-0.3	-0.0	2か月ぶりマイナス
大阪	2.6	0.4	2か月連続プラス
神戸	-5.4	-0.1	5か月連続マイナス
広島	-2.2	-0.0	5か月連続マイナス
福岡	0.8	0.0	3か月ぶりプラス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>-1.4</b>	<b>-0.4</b>	<b>23か月連続マイナス</b>
北海道	0.7	0.0	3か月連続プラス*
東北	-2.7	-0.0	2か月ぶりマイナス*
関東	-1.6	-0.2	9か月連続マイナス
中部	-1.7	-0.0	9か月連続マイナス
近畿	+0.0	0.0	2か月連続プラス
中国	-3.7	-0.1	12か月連続マイナス*
四国	-0.4	-0.0	2か月ぶりマイナス
九州	-1.1	-0.0	2か月ぶりマイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、身のまわり品と雑貨が2か月連続、食料品が5か月ぶりのプラスとなった。また、家庭用品が39か月連続、衣料品が9か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が48か月連続、美術・宝飾・貴金属、家具、菓子、その他食料品が2か月連続、家電が7か月ぶりのプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>0.1</b>	<b>—</b>	<b>2か月連続プラス</b>
紳士服・洋品	-0.0	-0.0	9か月連続マイナス
婦人服・洋品	-1.0	-0.2	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-3.1	-0.1	9か月連続マイナス
その他衣料品	-5.8	-0.1	41か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-1.4</b>	<b>-0.4</b>	<b>9か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>1.2</b>	<b>0.2</b>	<b>2か月連続プラス</b>
化粧品	5.7	0.6	48か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	6.7	0.4	2か月連続プラス*
その他雑貨	-6.6	-0.3	3か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>3.6</b>	<b>0.7</b>	<b>2か月連続プラス</b>
家具	3.1	0.0	2か月連続プラス
家電	5.8	0.0	7か月ぶりプラス
その他家庭用品	-10.9	-0.3	36か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-6.6</b>	<b>-0.3</b>	<b>39か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-2.3	-0.1	5か月連続マイナス*
菓子	1.1	0.1	2か月連続プラス*
惣菜	-0.6	-0.0	5か月連続マイナス*
その他食料品	0.7	0.0	2か月連続プラス*
<b>食料品</b>	<b>0.1</b>	<b>0.0</b>	<b>5か月ぶりプラス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-1.9</b>	<b>-0.0</b>	<b>23か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-0.3</b>	<b>-0.0</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>その他</b>	<b>1.4</b>	<b>0.0</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-9.6</b>	<b>-0.2</b>	<b>97か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>